

超実践! 「予算ゼロ円」で 音響効果を引き上げる! サウンドチューニング術

“良い音”って、どんな音?

『サウンドチューニング』のやり方を解説するその前に、良い音とはどんな音なのかを説明しておきたい。結論から入りたい。答はズバリ、「心地良いと思える音」である。本人が良いと思えばOKだ。明確な正解はない。しかし、悪い音がどんな音なのかは、案外に明確だ。つまり良い音とは、悪い音ではないことが前提で、そうでありさえすればその先は人それぞれ、というわけなのだ。

悪い音でなくなれば
良い音に近づける!

純正・市販を問わず、カーオーディオメインユニットには何らかの“音響設定機能”が搭載されている。もしもそれらに触ったことがないと言うのなら、この機会にぜひとも使ってみてほしい。操作することで案外簡単に、ガラリと“聴こえ方”を変えられる。試す価値は“大”なのだ。

Contents

Part 1

“音響設定機能”を使いこなすために
“悪い音”の正体を知るべし



Part 2

基本機能を使って
可能となる
簡単“チューニング術”
を伝授!



Part 3

お好みは
“塩味”? “醤油味”?
「イコライザー」で
音の“味付け”を変更!



では、悪い音とはどのような音なのだろうか。ポイントには、主に以下の3点に集約できる。1・ノイズが混ざっている音、2・ステレオの効果が消失している音、3・もとの音との隔たりが大きい音。これらができるだけ排除していくと、心地良いと思える音に近づける。そしてそれは、音響設定機能を駆使することでも実現できる。当特集では、それを行うための基礎知識の解説から具体的な実践テクニックの紹介までを計7ページにわたって展開する。精読の上、ぜひともチャレンジを!